

《援护基金机关报第64期(平成21年5月)》
身为遗华日本人的家父与第二代的我之间那
遥远的羁绊 —城戸久枝女士访谈录—



一部以遗华日本人为主题的NHK周六电视剧《遥远的羁绊》(自2009年4月18日始,每周六播放。共六集),讲述的是一位身为遗华孤儿的父亲及其女儿的故事,此剧一经播放便好评如潮。

这部电视剧,是根据获得第39回大宅壮一非虚构文艺作品奖的城戸久枝女士所著《远离那场战争》改编的。它讲述的是在日中邦交正常化前的1970年回到日本的父亲城戸幹及其女儿城戸久枝的故事。

电视剧即将播放的4月15日,在位于虎之门的财团法人中国残留孤儿援护基金事務局,常务董事中沢对作者城戸久枝女士进行了采访。

本期刊经城戸久枝女士及财团法人中国残留孤儿援护基金惠准,对《援护基金机关报第64期(平成21年5月)》所登内容(日语原文)进行转载,并附添汉语译文。

参考书籍

- ◎城戸久枝女士著《远离那场战争》
- ◎城戸幹先生著《远离那场战争外传“孙玉福”第39年的真实故事》

[中沢] 今天十分感谢您能在百忙之中前来接

『援護基金機関誌第64号(平成21年5月)』
中国残留邦人の父と二世の私
と遙かなる絆—城戸久枝さんに聞く—

中国残留邦人をテーマにしたNHK土曜ドラマ「遙かなる絆」(2009年4月18日から毎週土曜全6回)で中国残留孤児の父と、その娘の物語が放映され、非常に好評でした。この物語は、第39回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞した城戸久枝さん原作「あの戦争から遠く離れて」をドラマ化したもので、日中国交回復前の1970年に帰国した父城戸幹

さんその娘城戸久枝さんの物語です
放映に先立つ4月15日、虎ノ門の財団法人中国残留孤儿援護基金の事務局にて、著者の城戸久枝さんに基金事務局の中沢常務がインタビューを行いました。

本誌では、城戸久枝さんと財団法人中国残留孤儿援護基金のご協力を得て、『援護基金機関誌第64号(平成21年5月)』に掲載された対談内容(日文)をそのまま転載させていただきます、中文訳を加えました。

参考図書

◎城戸久枝さん著作「あの戦争から遠く離れて」

◎城戸幹さん著作「あの戦争から遠く離れて外伝『孫玉福』39年目の真実」

[中沢] 本日はお忙しい中、おいでいただき、ありがとうございます。私も中国からの帰国者に対して様々な援護をしている団体です。城戸さんに、中国帰国者が日本で生活していく上で励みになるようなお話をお聞かせいただきたいと思っています。本日のお話は援

受采访。我们是一个面向从中国归来的遗华日本人提供各种支援的团体。我们希望今天的采访能给生活在日本的中国归国者带来鼓舞。同时，今天的采访内容，也将登载在援护基金的机关报上，敬请您关照。首先，请接受我们的祝贺。NHK 即将播放电视剧了，我们也在网上看到您和您的父母拉着手开心欢喜的样子。

[城戸] 谢谢。我写的故事是从战争结束时开始的。当然，故事的起因无疑是那场战争。

[中沢] 据说您做了十年左右的调查，那么您是从什么时候开始着手写作的呢？

[城戸] 生出写的念头是在 1997 年。一直到那一年为止，我的内心始终没有接受自己的父亲。直到去中国进行短期留学，于是有了想把父亲的故事留给后世的强烈想法。

[中沢] 那以前，您是不是缺乏父亲是一名“遗华日本人”的切身感受……。

[城戸] 我从 1996 年 8 月开始，短期留学了一个月。那时，我抱着的是跟如今的大学生去海外游玩时相同的心情。看到日本在大连建造的房子时，也只不过是觉得真漂亮而已。可是当我看到下水道的井盖时，突然感觉到它跟自己的距离原来那么的近。

[中沢] 您指的是井盖上的那个“M”字样吧。只是，从您写的书中可以看出，您的父亲是一个非常努力的人，尽管回到日本以后吃了不少苦，可他的日语似乎没有什么问题。不过，您说他打电话时声音很大，好像仍然存在着一些生活习惯上的差异。那么，现在情况怎样呢？

[城戸] 我父亲在日本曾经负责公司的营业，所以我想他的日语应该算是不错的。而且，他本人也即将出书。有时候，父亲的日语语调会有些奇怪，可是不了解父亲经历的人，好像都以

護基金の機関誌に掲載させていただきますのでよろしくお願ひします。さて、NHKの放映おめでとうございます。ホームページに、ご両親と手を取り合って喜んだと有りましたが。

[城戸] ありがとうございます。話は戦争が終わったところから始まります。もちろん、この話の発端は戦争ですが。

[中沢] 10年ほど取材をされたそうですが、書き始めたのはいつからですか。

[城戸] 書きたいと思ったのは 1997 年でした。私はそれまで父を受け入れられませんでした。中国に短期留学して、父の物語を後世に残さなければ、と強く思いました。

[中沢] それまでは「中国残留邦人」ということについて実感がなかった…。

[城戸] 私は 1996 年 8 月から 1 か月中国に短期留学しました。そのときは今どきの大学生が海外に行くような気分でした。大連の日本の建築物を見ても、ただスゴイな、という感じでした。それが、マンホールの蓋に満鉄のマークを見つけて、急に身近になったのです。

[中沢] 「M」の字ですね。ところで、本によればお父さんは大変な努力家でいらっしゃる。帰国直後は大部苦労されたようですが、日本語についてはあまり問題ないようですね。しかし、電話の声が大きいことなど生活習慣にかかる問題についてはまだあるとのことですが、現在はどうか。

[城戸] 父は、日本で会社の営業をしていたくらいですから、日本語はうまい方だと思います。今度、本人が本を出すくらいですから。たまにアクセントがおかしいことがあります。が、父の経歴をご存知でない方は、「伊予の方

为他那是“伊予方言”。

[中沢] 您父亲真的是一个坚忍不拔的人。

[城戸] 从我这个女儿的角度来看，我也认为他的确是一个不懈于努力的人。刚回到日本时，由于比较年轻，所以找到了一份工作。可他是1970年回来的，那时国家没有任何援助措施，什么事情都得靠自己解决，所以我想他一定吃了不少苦。

[中沢] 您在书中提到这么一件事，您的父亲看《大地之子》时感慨说，“哪有那么便宜的事儿”。

[城戸] 遗华日本人们的遭遇及其所处的境地，每一个人都是不尽相同的。我父亲正好经历了文革的高潮时期，因此我想，他每一天都在和恐惧作着搏斗。

[中沢] 您追溯您父亲的足迹，走访了中国的各个角落，和留学的时候相比，您对那一个个地方的感受，是否产生了变化呢？

[城戸] 一直到我去中国留学为止，有关过去的事情，我和父亲之间始终是不闻不问，父亲不言不语。我是在大连生出想了解父亲的过去这个念头的。可即使如此，父亲还是不肯开口讲述。其后，又经过了两年多的留学生活，在与他人接触和建立人际关系的过程中，我想我渐渐长大，也渐渐懂得了一些。也就是说，开始理解原本不理解的事情了。

[中沢] 话虽如此，可您父亲执意要“回国”的信念，可以说无强可比。算命的宁先生将您父亲的命掐算了出来，这也可以说是冥冥之中的一种命运吧。

[城戸] 这恐怕是基于留在中国不会有未来这样的想法吧。父亲是日本人，所以要回到日本，想回到日本；然而父亲与养母之间的亲情羁绊

げん
言」だと思っているようです。

[中沢] お父さんは努力家ですね。

[城戸] 娘の目から見てもかなりの努力家だと思います。帰国したときは若かったので仕事はありましたが、1970年に帰国したので、国からの支援は何もなく、すべて自分でやるしかなかったわけですから大変だったと思います。

[中沢] 本の中に、お父さんが「大地の子」を見て、「あんな甘いもんじゃない」と言ったという話が出てきますね。

[城戸] 中国残留邦人の方々は、置かれた状況、立場がひとりひとり違います。父の都合は、文化大革命の最中ですから、恐怖感とのたたかひの日々だったと思います。

[中沢] 城戸さんはお父さんの足跡を訪ねて中国各地を回られたわけですが、中国に留学していた時、その後訪問した時など、居たところ、居たところで感じ方が違いますか。

[城戸] 中国へ短期留学するまでは、娘は聞かない、父は話さない、という状況だったわけです。父のことを知りたいと思ったのは大連ですね。しかし、父はそれでも話そうとはしませんでした。その後2年間の留学を経て、自分で他者との関係を築いていく中で、大人になっていく過程で、すこしずつわかるようになってきたということだと思います。知らなかったことがわかるようになってきたということですね。

[中沢] それにしてもお父さんの「帰国する」という執念はスゴイものがありますね。占いの師の寧さんがお父さんにつながることを思い出すと「運」もあったわけですが。

[城戸] 中国に居ても未来がない、ということに基づくものでしょう。父は日本人なのだから

密实坚牢，父亲舍不得离开养母。我想，置身于两种情感之间的父亲，必定是经历了极大的内心矛盾和苦痛的。

[中沢] 您的父亲与其养母之间虽然没有血缘关系、但胜过血缘关系，我想您父亲必定是经过了极大的思想斗争。我们不应该忘记像你父亲的养母那样，无私抚育遗华孤儿的人们。

[城戸] 我想我父亲对于其养母的感情之深，是无以形容和比拟的。因此，或许有人会问，那他为什么要回日本呢？父亲是不得已才回到日本的。每一个遗华日本人的境遇都不尽相同，父亲和其养母之间的缘分是一种善缘。相反，也有的人只不过是被视为劳动力来赡养。可父亲的养母把父亲当作亲生儿子对待。

[中沢] 这让我们感受到中国人温厚宽阔的胸怀。

[城戸] 国与国之间的关系是错综复杂的，然而人和人之间却可以亲和紧密。家人间的羁绊和纽带更是牢不可破。有时我会禁不住想，生活在今天的我们，能否像父亲的养母一样，无私地做到她所做的一切。

[中沢] 对于 NHK 播放这部电视剧，您有什么感受？

[城戸] NHK 播放《大地之子》的时候，我还是一名学生。由于当时媒体也报道访日调查及遗华日本人归国的情况，因此《大地之子》对我来说，是十分有现实意义的。它重新唤醒了人们内心深处已经忘却了的、遗华日本人这样一种存在。从这一点来说，《大地之子》是有意义的。我父亲是一个坚忍不拔的人，这一点可以说比较特殊，可我们还是需要让人们了解，有多少遗华日本人，就需要有多少针对性的支援措施这样一个事实。

日本に帰るのだ、帰りたいという気持ちと、養母と堅い絆で結ばれていて、離れがたいという気持ちとの間で、大変な葛藤があったと思います。

[中沢] お父さんと養母とは固い絆で結ばれていたわけですから、大変心の葛藤があったと思います。このような養母に育てられたということ私たちは忘れてはいけませんね。

[城戸] 養母に対する思いはとてつもなく重いものがあったと思います。なら、何故日本に帰ったのだという人がいますが、父は帰らざるをえなかったのです。中国残留邦人は人によって環境が異なります。父と養母の場合はいい出会いでした。しかし、単なる労働力として育てられた人もいます。父の養母の場合には、父に対して本当の息子として接していました。

[中沢] 中国人の懐の深さを感じますね。

[城戸] 国と国の関係は難しいが、人間同士ではすごく近くなります。家族の絆は強いですね。今の私たちに、養母のようなことができるだろうかと思うことがあります。

[中沢] NHKで放映されることをどう思いますか。

[城戸] 「大地の子」が放映された頃、私は学生でした。訪日調査や帰国する姿が報道されることもあり、「大地の子」はリアルな存在でした。中国残留邦人という忘れられた存在が、改めて思い起こされることはよかったです。父は努力家という点で特殊なところもあるが、千人の中国残留邦人がいれば千通りの対応が必要なのだという事を知ってほしいと思います。

[中沢] 帰国者はまだまだいます。今、所沢の

[中沢] 中国还有不少归国者，现在所泽的定着促进中心共有11家、47名归来者。也就是说每年有20家、共计100多人回到日本。

[城戸] 回到日本的时间越晚，各种困难也就越多。年纪越大越不容易学好日语。日语不好的话，有时候会被说成是“中国人”。而第二、三代争取自立，也是一件十分重要的事情吧。

[中沢] 我们援护基金通过借贷奖学金的方式，向第二、三代提供自立支援。让第二、三代实现自立，也可以说是对遗华孤儿的一种援助。

[城戸] 第二、三代实现自立，比什么都重要。第二代要是在不能自立的情况下进入五十岁的话，就意味着有可能会在不懂语言的状态中走进孤独的晚年。虽然人们无法预知现在与未来有着怎样的关联，可是在第二、三代人里，不乏谙熟汉语和日语的人。虽说我是第二代，可我出生在日本，因此跟大家的情况不尽相同。

[中沢] 我听说您能说一口相当流利的汉语。

[城戸] 我的汉语可谓南腔北调。第一代归国者曾经对我说“你的汉语我根本听不懂！”

[中沢] 作为一个作家，您打算今后写一些什么样的东西呢？

[城戸] 我自己呢，想写每一天的事。把每个人用各自不同的语言所讲述的、发生在每一天的不同事情记录下来。

[中沢] 谢谢您接受我们的采访。我们衷心地祝愿您今后能继续创作出优秀作品。

ていちゃくそくしんせんたー せたい めい にゅう
定着促進センターには11世帯47名の入
しよしゃ ねんかん いじょう
所者がいます。年間20世帯100名以上帰国
しているわけです。

[城戸] 帰国時期が遅くなればなるほど、大変になります。年をとればとるほど言葉を覚えられませんが、日本語が不自由だと「中国人」と言われることもあります。二世～三世の方々が自立していくことも重要でしょうね。

[中沢] 援護基金では、就学資金の貸し付けをして二世～三世の自立の手助けをしています。二世～三世が自立していくことは、孤児に対する援助にもなります。

[城戸] 二世～三世は独立することが何よりも重要ですね。二世が独立しないまま50歳くらいになると、言葉ができないまま孤立していく恐れがあります。どんなことが今後につながる可能性が有るのかわかりませんが、二世～三世には中国語も日本語も出来る人がいます。何かできないでしょうか。私は二世といっても日本生まれですからちょっと違いますが。

[中沢] 城戸さんはかなり流暢な中国語ができると同っています。

[城戸] 私の中国語はかなりなまっています。一世の方にあなたの中国語はわからないよと怒られたこともあります。

[中沢] 城戸さんとしては、これからどのようなものを書いていこうと考えていますか。

[城戸] 私としては、日々のことを書いていきたいと考えています。それぞれの方にそれぞれの言葉で語っていただいたことを書いていきたいと思っています。

[中沢] 本日は、ありがとうございました。ますますのご活躍を願っています。